



岸本周平
Kishimoto Shuhei
中央大学客員教授

<http://www.shuhei-k.jp>

<http://blog.goo.ne.jp/shu0712>

天下分け目の合戦！ 参議院選挙！

7月は参議院選挙の月です。12日公示、29日投票日です。奇しくも7月12日は周平の51歳の誕生日です。いたずらに馬齢を重ねるとはいいますが、まったく文字通りの境遇にもめげず、周平の前向きな努力の日々が続きます。

年金支払い記録のずさんな管理の問題や、久間防衛大臣の「広島、長崎への原爆投下は仕方がなかった」という発言による辞任。さらには、佐田前行革相、自殺した松岡前農水相の不明朗な「事務所費」問題に続き、赤城農水相もまた、約9,000万円の事務所費等の問題で批判されています。民主党には追い風が吹いているようです。

確かに、街頭演説をしたり、ビラを配っていても、有権者の反応はすごく良いです。こちらがびっくりするくらい「頑張れよ!」と声をかけてくれます。しかし、これはあくまでも政府、自民党のエラーですから、さらに積極的に民主党に政権を任せようという国民の支持に変えていかなければ意味がありません。

参議院での与野党逆転で、ようやく「政権交代」という言葉に現実味が出てきたわけですから、しっかりとした政策の主張をしていくべきです。年金の財源問題などもきちんと説明しなければなりません。その意味では、3年前のマニフェストに基礎年金を全額消費税で賄うために3%分の引き上げをうたったにもかかわらず、今回は歳出削減で対応するとのこと。果たして、国民の支持を得ることができるのでしょうか。本稿の載る9月号は参議院選挙の後ですから、その時、国民の審判は下っています。

暑い夏の戦いがもうすぐ始まります。「逆転の夏!」周平も全力で戦います。今は一運動員として、ポスティングや街頭での

ビラ配りに徹しています。マイクを持って街頭宣伝車にも乗り、「カラス」もやります。運動員として頑張るほど、応援して下さる方々との間に仲間意識が芽生えます。これは本当にありがたいことです。



写真向かって右端が和歌山の応援に駆けつけてくれた鳩山由起夫幹事長。応援演説をしているのが筆者（左端）

岡田元代表や鳩山幹事長も応援のために和歌山に入ってきました。大物が来てくれますと、陣営は盛り上がります。鉢呂選挙対策委員長に聞くと、テレビに出ている政治家ほど応援依頼が多いそうです。なるほどそういうものかと思いました。

和歌山地方選挙区候補者のキャッチフレーズは「私たちの和歌山。変える責任、変える勇気を!」です。統一地方選以来、和歌山の政治が変わる予感がしています。